

平成26年3月期 決算について

平成26年4月24日
JFE鋼板株式会社

平成26年3月期の連結業績(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(百万円未満切捨て)

連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		特別損益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	68,022	11.1	1,427	407.8	△ 2	－	788	139.5
25年3月期	61,210	△ 3.6	281	△ 76.5	395	－	329	165.7

注 連結子会社数 26年3月期 5社、25年3月期 5社

持分法適用関連会社数 26年3月期 1社、25年3月期 2社

(百万円未満切捨て)

(参考)個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		特別損益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	61,370	11.8	886	－	－	－	561	32.3
25年3月期	54,876	△ 4.6	△ 109	－	640	－	424	－

【当期の概況】

当期のわが国経済は、円安による輸出環境の改善や堅調な内需が生産活動を支え、緩やかに回復いたしました。

建材関係需要につきましても、新設住宅着工戸数が前年同月比で18ヵ月連続(平成24年9月～同26年2月)でプラスとなり、非住宅の着工水準も堅調な推移を見せるなど、低金利の継続や消費税率引き上げ前の駆け込みといった追い風を受けて前期と同様に回復基調にありました。

この中でも顕著な動きとして、メガソーラーの建設の本格化、高水準のリフォーム需要が挙げられます。

【当期の損益】

上記のような状況から、連結経営成績は、売上高は68,022百万円(前期比+11.1%)、経常利益は1,427百万円(前期比+407.8%)、当期純利益は788百万円(前期比+139.5%)となりました。

グループ全体で黒字を実現し、子会社との一貫収益管理を行って収益最大化を図る目標を達成できました。

また個別経営成績につきましては、売上高は61,370百万円(前期比+11.8%)、経常利益は886百万円、当期純利益は561百万円(前期比+32.3%)となりました。

【次期の見通し】

建材関係需要は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動により新設住宅着工戸数の減少が予想されており、厳しい状況にあります。

一方で、本格的な復興政策の推進やデフレからの早期脱却、経済再生への取り組みもあり、需要の落ち込みは最小限にとどまり、上振れする可能性もあります。

こうした見通しの下で、当社は、拡大するPV(太陽光発電)市場の需要を捕捉する架台向け鋼板(エコガル)、高機能カラー鋼板(きわみ、タフマックス等)の拡販や、内装材・特殊機能鋼板(オプトクリーン、ビューボード、サニータ等)の新用途の開拓、需要の増加に対応するための製造能力の拡大等に引き続き取り組み、黒字拡大を目指して参ります。

以上